



# 東京金山会通信 No.4

東京金山会 広報担当 (藤山善夫)  
☎080-5525-0435  
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

総会後の第二部懇親会は町議会柴田清正議長の乾杯の音頭にてスタートしました。会場の色々な所で「まんずまんずのめ～！んだな～！うんめなや～！おめ～ものめ～！金山さいずけえった～?!」などなど…。金山の懐かしい方言を聞く事ができました。歌謡ショーは永山茂樹さんの新曲、金山炎華ばやしの熱唱で会場が一つに！カラオケショーは控え目な金山の出身者ですので遠慮がちでした。お酒が利いたのか後半は同級生みんなで合唱、友人とデュエットなど大変盛り上がりました。もっと歌いたかったという方、ぜひ来年もお越しください！

皆様方のお力で第61回総会を盛り上げていただき、本当にありがとうございました。来年も皆様とお会い出来ることを役員一同楽しみにしていますので、ご参加のほどよろしくお願ひします。  
※総会時の写真は金山町ホームページでもご覧いただけます。



問い合わせ

芍薬や一夜の雨に色寂びて  
夕暮のどくだみの花人恋し

阿部 サタエ

短冊を師の句に替へて更衣  
追憶の遠くて美しき雲の峰

阿部 サタエ

風騒ぎ雨粒走る青芒  
夫と見る墨絵のままの薄月夜

高橋 洋子

馬鈴薯の薄紫や夕まぐれ  
朝焼の夏嶺間近く迫りくる

岸 あき子

夜半の雷抜けて朝の君影草  
般若会に黙礼ひとつ九輪草

星川 さえ子

金山杉俳句会報 第四三〇回

ふんばい

かねやま紅風会

白扇や戒の法語をかみしめる  
地震の痕のこして去りぬ走り梅雨

七日町 村松 奈風

糞残し燕飛び立つ納屋の中  
朝な夕な涼を逃さず農作業

上 阿部 一步

畑打ち土竜任せの齢かな  
荒梅雨や対行線の水鉄砲

羽場 坂本 徳太郎

古参道ぞいの慈し昔の花  
屋敷跡なごり止める花あやめ

七日町 柴田 栖静

亡父偲ぶ栗の花粉に噎せながら  
梅雨曇り対の鴉の自由席

七日町 青柳 キエ子

仏壇へひと枝折りし濃紫陽花  
清けくも笹葉の青や粽結ふ

菅越 庄司 けみ子

父の日や地酒味は喉のおく  
裏の山はや蝸の根城かな

荒屋 関 喜美子

夏雲や今を生き抜き礼参り  
最上川舟歌とく四葩みち

荒屋 阿部 勝子

## 「森の子ども図書コーナー」 No.164 交流サロンぽすと内



『ママがおばけになっちゃった!』  
(のぶみ作/絵)

ママは、車にぶつかりました。ママは、息子のかんたろうのことが心配でたまりません。自分がいなくなっても生きていけるのか、一人でもなんでもできるようになれるのか…。そこでママは、おばけになって、かんたろうのもとへやってきます。かんたろうは最初、ママの存在に気づきませんでした。真夜中に会うことができました。夜の散歩でママが愛する息子に伝えたかったことは…。子供だけでなく、大人も感動すること間違いなしの親子の絆と命の大切さを描いた物語です。



※( )内作者名

樹木希林120の遺言 (樹木希林) / 陰陽師 女蛇 / 巻 (夢枕獯) / 令和を生きていくときに考えてほしいこと (学研編) / お母さんは、大丈夫 認知症の母と私の20年 (楠草子) / 怒らない習慣力 (種市

## 「図書室だより」

中央公民館内 9:00 ▶ 16:00

『尊敬ある介護』  
(里村佳子/岩波書店)  
具体的な寄り添い方とは、どういったものでしょうか? 「寄り添い」とは、認知症の人を変えようとするのではなく、介護者が近づき、そのありのままを受け入れることです。そうすると無視されていたその人の自尊心は高まり、尊敬が回復するのです。さらに、尊敬を認めてくれた介護者に認知症の人から近づいてくれます。



『マジカルグランマ』  
(柚木麻子/朝日新聞出版)  
女優になったが結婚後すぐに引退し、主婦となった正子。ところが、75歳を目前に再デビューを果たし、「日本のおばあちゃんの顔」となる。しかし、夫の突然の死によって仮面夫婦であること世間にバレ、一気に国民は正子に背を向ける。その後、正子はどうなっていくのか? 差別や偏見のことにも触れている作品。



今月は12冊!

勝覚) / 夏めし100 さっぱり&スパイシー (高橋 雅子) / いいことづくめ 考えないお弁当 (前田量子) / ライフ (小野寺文宣) そのほか4冊

## 山形大学の地域連携型サークル「Team道草」

道草だよりでは、彼らの町内での活動を紹介します!

「金山町×大学生」で産まれる新たな可能性を模索します



㊤ (左から) 四季の連続がきれいな「優しい時間」と思い出の中田。「赤い屋根の学校」は漫画風に児童の想いを伝える ㊦ (左から) 「中田の情景～人々のくらし営み・自然への祈り～」は自然との共生を表現。新しい世代のつながりが分かる「中田の希望～子ども達に託す未来への願い～」

## 道草便り Vol.16

上中田地区「大学生が残す中田の姿」

今回は上中田地区の4点の壁画を取材してきました。町民の方々から知らなかったなどの声があり、少しでもお伝えできればと思います!

地区の新たな思い出として残っていることがすごいところ。今年で壁画制作は終わるといってしまいましたが、その当時の子どもたちが帰ってきた時に想いを馳せる場所が上中田地区にはあります。下中田地区にも壁画があり、続けて見ることがおススメです。